

# ～はじめて成了た神様～

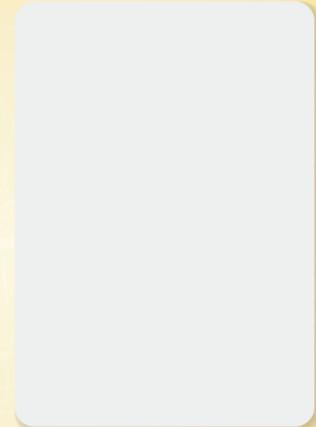


①アメノミナカヌシノカミ



②タカミムスピノカミ  
③カミムスピノカミ

ぞうかさんしん  
造化三神



④ウマシアシカビヒコヂノカミ



⑤アメノトコタチノカミ

## ことあま 別天つ五神

※1  
ものざね

※2  
かみむすび

大自然を物実として、産巣の力によって次々と神様が成りました。西洋の神様が「創造主＝神が世界を創造する」に比べ、日本の神様は、「初めから世界は存在していた」ととらえられている点が特徴的です。これは「大自然ははじめから存在している（＝終わりがない）」ことを意味し、私たち日本民族の大切な世界観となっています。

※1. 一般的には「材料」の意味。物種のこと。これを種として、神々が生成していく。

※2. 天地、万物を生成発展させる靈的なはたらきのこと。